

## 特別企画

# “株式会社 Re ambitious に 託す想い” 代表取締役 福島努インタビュー



### I. R-studio を立ち上げた理由、その想い。

2012年4月、リハセンター R-studio を開設。

コンセプトは、在宅復帰後に十分なリハビリテーションが受けられない。

そんな利用者様にとって、リハにだけ専念してもらいたい。

本物のリハを提供できる場所を作ることに使命感をもって日々、

利用者様と向き合っていきたいと思って立ち上げました。

その運動量、リハの質は日本一だと自負しています。

「目の前で困った方、家族がいたら R-studio にお願いしたい。」

「R-studio があるから安心だよ。」

「R-studio で働くことが幸せ。」

目の前の利用者様、ともに働いてくれるスタッフ、家族、関わる人たちが  
幸せになってくれることを願っています。



**[社長 自筆色紙]  
利用者の誕生日に  
プレゼントしています!**



### II. 地域に求められるR-studioを目指して

「自分自身が諦めたら試合終了。」誰もが一度は聞いたことのあるフレーズ。しかし、患者様や利用者様にとって自分自身があきらめてなくとも、周りが、セラピストが諦めたら試合終了。

在宅復帰した後でも、もっと良くなりたい。そう願う利用者様にとって、自分自身と向き合える場所としてあり続けていきます。

利用当初は車いすやひとりで歩けない利用者様も多く存在しますが、時間の経過の中で、ひとりで歩けるようになった。痛みがなくなった。以前は寝たきりだったのにと驚異的な回復をみせる利用者様が多く存在しています。

「ここに来てから、また人生に希望が持てた」

「R-studio に通って、毎回元気をもらって帰る」

その一言に、利用者様の変化に、帰りの際の利用者様の笑顔に、自分たちの存在意義、やりがいを感じています。

### Ⅲ. 株式会社 Re ambitious 今後の未来

私たちはリハビリテーションを通じてできるを明日へつなげ、周りの人を幸せにできる「人間・健康・地域」づくりに貢献していくことを理念に掲げ、地域において利用者様の人生に寄り添いともに生きていく覚悟を持ち、日々目の前の利用者さんと向き合っています。

2013年5月より利用者様の増加とともに同施設の2階へと拡張し、2015年3月に訪問 R-station を開設。2015年12月 R-studio フィットネスを開設。在宅においても質の高いリハビリテーションを提供しているよう努力していきます。

今後も「株式会社 Re ambitious」として、これからも利用者様が「志を再び」描けることができる場所であり続け、大切な家族を安心して任せられる地域完結型事業、必要なサービス事業展開をしていきたいですね。

あのと時のがんばりが今につながっているよ。  
そういつてもらえるよう、スタッフとともにこれからも秦野市の生活を支えていけるよう成長していきます。



## Mission Story



### Re ambitious “あなたの心に再び志を”

私たちは、今後、むかえる超高齢化社会において、地域の一人一人がその人らしく、安心して暮らしていける地域を目指し、

介護・医療・福祉事業を通じて大切な家族を安心して任せられる地域完結型事業を追求し、「人間・健康・地域」づくりに貢献していきます。  
また、リハビリテーションを通じて、できることの喜び、可能性を引き出し、人々をつなげ、チームワークに溢れるまちづくりを目指します。

その結果、スタッフ、地域の人々が自分自身の役割、つながりを感じ、夢の実現、成長をともに分かち合い、この地域に住んでよかった。この場所があってよかった。あなたに出会えてよかった。あらたな志ができた。と思える世界が広がっていくことを信じています。

株式会社 Re ambitious, リハセンター R-studio は今年で 5 周年目を迎えました。上の図が Re ambitious が掲げているミッションストーリーです。このストーリーは我々スタッフだけでは到底描けません。皆様とともに前に進み続けることで、始めて描けるものだと思っています。

“あなたの心に再び志を” 新たな志ができた。そういつてもらえるように我々スタッフ一同は皆様をサポートしていければと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。